



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社インバウンドプラットフォーム 上場取引所 東
 コード番号 5587 URL <https://www.inbound-platform.com/company/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 王 伸
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0（氏名） 弓場 肇（TEL）03-3437-3129
 半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	1,432	30.5	133	107.8	131	99.3	90	98.3
2024年9月期中間期	1,097	26.5	64	△51.1	65	△50.5	45	△50.4
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年9月期中間期	26.17		25.55					
2024年9月期中間期	13.27		12.69					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	2,643	1,303	49.3
2024年9月期	1,957	1,204	61.5

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,303百万円 2024年9月期 1,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,796	19.8	253	41.0	256	43.1	182	43.3	52.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	3,449,600株	2024年9月期	3,449,600株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年9月期中間期	41株	2024年9月期	—株
-------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年9月期中間期	3,449,570株	2024年9月期中間期	3,430,199株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（中間決算説明内容の入手方法について）

当社は、2025年5月16日に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会を開催する予定です。説明会で使用する資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日)における我が国経済は、インバウンド増加、国内需要の回復等による社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向となりました。一方で、国内では物価の高騰、海外では米国の政策動向・中東情勢の変化等の国際情勢により、地政学的リスクに伴うエネルギー価格上昇や、金融資本市場の変動影響等、国内外における経済的な見通しは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社モバイルネットワーク事業では、従来のWi-Fiレンタルサービスとともに、物理的なSIMカードやWi-Fi端末が不要で、ネットで申込から利用開始まで完結ができるeSIMサービスのマーケティングに注力してまいりました。また、ライフメディアテック事業では、当社の強みである外国人顧客基盤や外国人向けサービスのノウハウを活かし2024年9月期に立ち上げた、モビリティテックサービス(国内移動に係る外国人向け予約プラットフォーム)のサービス拡充と認知拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高1,432,389千円(前年同期比30.5%増)、営業利益133,868千円(同107.8%増)、経常利益131,029千円(同99.3%増)、中間純利益90,261千円(同98.3%増)となりました。

なお、前事業年度第3四半期より、セグメントを従来の「Wi-Fi事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」から「モバイルネットワーク事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」に変更しております。このため、前中間会計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細は、「2. 中間財務諸表及び主な注記 (3) 中間財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

a. モバイルネットワーク事業

当事業は、サービスの多様化を受け、eSIMの利用拡大が進んだ一方、Wi-Fi端末のレンタルが減少し、当中間会計期間における売上高は837,921千円(前年同期比14.1%減)、セグメント利益76,655千円(同0.7%減)となりました。

b. ライフメディアテック事業

当事業は、国内移動に係る予約プラットフォームが好調に推移し、当中間会計期間における売上高は539,852千円(前年同期比567.3%増)、セグメント利益は57,855千円(前年同期はセグメント損失7,123千円)となりました。

c. キャンピングカー事業

当事業は、訪日外国人数の増加、及び前事業年度の新車購入による増台に伴い、好調に推移しました。以上の結果、当中間会計期間における売上高は53,209千円(前年同期比35.9%増)、セグメント損失は642千円(前年同期はセグメント損失5,637千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ685,586千円増加し、2,643,101千円となりました。

流動資産は1,445,611千円(前事業年度末に比べ599,783千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金521,579千円増加、売掛金62,385千円増加、商品28,050千円増加、未収入金11,219千円減少によるものであります。固定資産は1,197,490千円(前事業年度末に比べ85,802千円増加)となりました。これは、有形固定資産1,280千円減少、無形固定資産50,285千円増加、投資その他の資産36,797千円増加によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ586,435千円増加し、1,339,308千円となりました。

流動負債は1,098,980千円(前事業年度末に比べ521,315千円増加)となりました。これは主に、買掛金380,232千円増加、預り金25,862千円増加、未払金58,872千円増加、未払法人税等45,900千円増加によるものであります。固定負債は240,328千円(前事業年度末に比べ65,120千円増加)となりました。これは、長期借入金65,120千円増加によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ99,150千円増加し、1,303,792千円となりました。これは主に、中間純利益の計上による利益剰余金の増加90,261千円、その他有価証券評価差額金の増加8,922千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ521,579千円増加の1,131,552千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動の結果得られた資金は597,632千円(前年同期は59,548千円の獲得)となりました。これは主に、税引前当期純利益130,746千円、減価償却費67,745千円、売掛金の増加額62,385千円、買掛金の増加額380,232千円、未払金の増加額57,061千円、預り金の増加額25,862千円、法人税等の還付額18,894千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は145,573千円(前年同期は207,638千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47,347千円や、無形固定資産の取得による支出87,316千円、差入保証金の払込による支出403,000千円、差入保証金の返還による収入375,000千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果得られた資金は69,520千円(前年同期は1,798千円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済30,446千円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2024年11月14日の「2024年9月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	609,973	1,131,552
売掛金	141,995	204,381
商品	15,157	43,208
貯蔵品	8,636	14,080
その他	70,064	52,388
流動資産合計	845,827	1,445,611
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	257,244	221,748
その他(純額)	51,628	85,844
有形固定資産合計	308,873	307,592
無形固定資産		
ソフトウェア	212,087	288,242
その他	97,626	71,757
無形固定資産合計	309,713	359,999
投資その他の資産		
差入保証金	431,128	459,128
その他	61,972	70,769
投資その他の資産合計	493,100	529,897
固定資産合計	1,111,687	1,197,490
資産合計	1,957,515	2,643,101

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,388	646,621
1年内返済予定の長期借入金	39,558	43,992
未払法人税等	431	46,332
契約負債	126,791	125,082
賞与引当金	—	2,379
その他	144,494	234,572
流動負債合計	577,664	1,098,980
固定負債		
長期借入金	164,938	230,058
その他	10,270	10,270
固定負債合計	175,208	240,328
負債合計	752,872	1,339,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,630	351,630
資本剰余金	511,130	511,130
利益剰余金	341,880	432,141
自己株式	—	△33
株主資本合計	1,204,642	1,294,870
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	8,922
評価・換算差額等合計	—	8,922
純資産合計	1,204,642	1,303,792
負債純資産合計	1,957,515	2,643,101

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,097,300	1,432,389
売上原価	476,349	370,822
売上総利益	620,950	1,061,566
販売費及び一般管理費	556,536	927,698
営業利益	64,414	133,868
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	6	412
受取補償金	1,950	2,096
その他	130	174
営業外収益合計	2,086	2,682
営業外費用		
支払利息	727	3,622
為替差損	8	896
その他	11	1,002
営業外費用合計	747	5,521
経常利益	65,753	131,029
特別利益		
固定資産売却益	—	123
特別利益合計	—	123
特別損失		
固定資産売却損	—	406
特別損失合計	—	406
税引前中間純利益	65,753	130,746
法人税等	20,247	40,485
中間純利益	45,506	90,261

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	65,753	130,746
減価償却費	80,571	67,745
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,379
受取利息及び受取配当金	△6	△412
受取補償金	△1,950	△2,096
支払利息	727	3,622
固定資産除売却損益(△は益)	—	283
売掛金の増減額(△は増加)	△29,847	△62,385
前払費用の増減額(△は増加)	4,786	1,884
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,995	△28,050
貯蔵品の増減額(△は増加)	△4,863	△5,444
買掛金の増減額(△は減少)	80,780	380,232
契約負債の増減額(△は減少)	△38,923	△1,708
預り金の増減額(△は減少)	6,383	25,862
未払費用の増減額(△は減少)	△2,789	4,798
未払金の増減額(△は減少)	4,015	57,061
その他	△2,684	6,230
小計	159,958	580,748
利息及び配当金の受取額	6	412
利息の支払額	△645	△3,976
補償金の受取額	1,980	2,048
法人税等の還付額	—	18,894
法人税等の支払額	△101,750	△494
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,548	597,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127,630	△47,347
有形固定資産の売却による収入	—	17,090
無形固定資産の取得による支出	△62,008	△87,316
差入保証金の差入による支出	△8,000	△403,000
差入保証金の回収による収入	—	375,000
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,638	△145,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△30,426	△30,446
自己株式の取得による支出	—	△33
新株予約権の行使による株式の発行による収入	28,627	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,798	69,520
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△149,888	521,579
現金及び現金同等物の期首残高	1,204,026	609,973
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,054,138	1,131,552

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	中間損益 計算書計上 額(注)2
	モバイルネットワーク 事業	ライフメディア テック事業	キャンピング グカー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	49,528	72,085	3,673	125,287	1,792	127,080
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	925,934	8,814	35,471	970,220	—	970,220
顧客との契約から生じる収益	975,463	80,899	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	975,463	80,899	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	975,463	80,899	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
セグメント利益又は損失(△)	77,175	△7,123	△5,637	64,414	—	64,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング業務を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	中間損益 計算書計上 額(注)2
	モバイルネ ットワーク 事業	ライフメデ ィアテック 事業	キャンピン グカー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	94,690	533,750	2,460	630,901	1,406	632,308
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	743,230	6,101	50,749	800,081	—	800,081
顧客との契約から生じる収益	837,921	539,852	53,209	1,430,983	1,406	1,432,389
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	837,921	539,852	53,209	1,430,983	1,406	1,432,389
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	837,921	539,852	53,209	1,430,983	1,406	1,432,389
セグメント利益又は損失(△)	76,655	57,855	△642	133,868	—	133,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング業務を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期会計期間より組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、従来の「Wi-Fi事業」セグメントと「ライフメディアテック事業」セグメントに含めていた事業の一部を統合し「モバイルネットワーク事業」といたしました。これにより、報告セグメントを従来の「Wi-Fi事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」から、「モバイルネットワーク事業」「ライフメディアテック事業」「キャンピングカー事業」に変更しています。

なお、前中間会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。